



## 報道発表

令和6年9月25日  
東京税関成田税関支署

### 航空機旅客による密輸入事犯の大口化

～令和6年上半期の成田国際空港における関税法違反事件の取締り状況～

令和6年上半期に摘発した不正薬物（※1）の密輸入事犯は、摘発件数32件（前年同期比約62%減）、押収量約151kg（※2）（同約5%減）であった。

内訳は、覚醒剤13件（同約77%減）/約110kg（同約21%減）、大麻5件（同100%）/約7kg（同約784倍）、麻薬14件（同約33%減）/約34kg（同約1.6倍）であった。

金地金等密輸入事犯の摘発件数は123件（前年同期比約1.9倍）、押収量は約219Kg（同約6.3倍）であった。

#### ※主な特徴

- 航空機旅客による覚醒剤密輸入手口の大口化
- 結晶状、粉末状のMDMA密輸入の増加
- 航空機旅客による金地金等の密輸入の大幅な増加
- ➡上半期で令和5年全体を上回る件数及び重量

（※1）覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。

資料「成田国際空港における密輸入事犯摘発状況一覧表」参照。

（※2）重量等未確定につき含まれないものがある。個々の押収量についても同様。

# 1. 成田国際空港における密輸入事犯摘発状況一覧表

社会悪事犯		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年		令和6年 (1-6月)
					1-6月	前年比(1-6月)	
覚醒剤	件 数	14	11	52	82	57	13
	押収量(kg)	83	84	161	451	138	110
	押収量(千錠)	0	-	-	-	-	-
大麻 (樹脂等含む)	件 数	17	6	14	17	5	5
	押収量(kg)	9	21	1	86	0	7
あへん	件 数	0	0	0	0	0	0
	押収量(kg)	-	-	-	-	-	-
麻薬	件 数	7	7	15	43	21	14
	押収量(千錠)	-	0	2	15	0	-
	押収量(kg)	11	3	24	43	21	34
ヘロイン	件 数	0	0	0	0	0	0
	押収量(kg)	-	-	-	-	-	-
コカイン	件 数	6	3	8	32	17	8
	押収量(kg)	11	1	20	33	21	15
MDMA	件 数	0	1	4	6	2	4
	押収量(千錠)	-	0	2	15	0	-
	押収量(kg)	-	-	0	9	0	18
その他麻薬	件 数	1	3	3	5	2	2
	押収量(千錠)	-	-	-	-	-	-
	押収量(kg)	0	2	4	1	-	0
向精神薬	件 数	0	0	0	1	1	0
	押収量(千錠)	-	-	-	0	0	-
	押収量(kg)	-	-	-	-	0	-
指定薬物	件 数	1	1	7	0	0	0
	押収量(kg)	0	0	1	-	-	-
合計	件 数	39	25	88	143	84	32
	押収量(kg)	103	108	186	580	159	151
	押収量(千錠)	0	0	2	15	17	-
銃砲類	件 数	0	0	0	0	0	-
	押収量(丁)	-	-	-	-	-	-

\* 1. 重量は、小数点以下を四捨五入した

2. 薬物の数量表記(押収量)について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

また、端数処理している為、比率や合計値が合わないことがある。

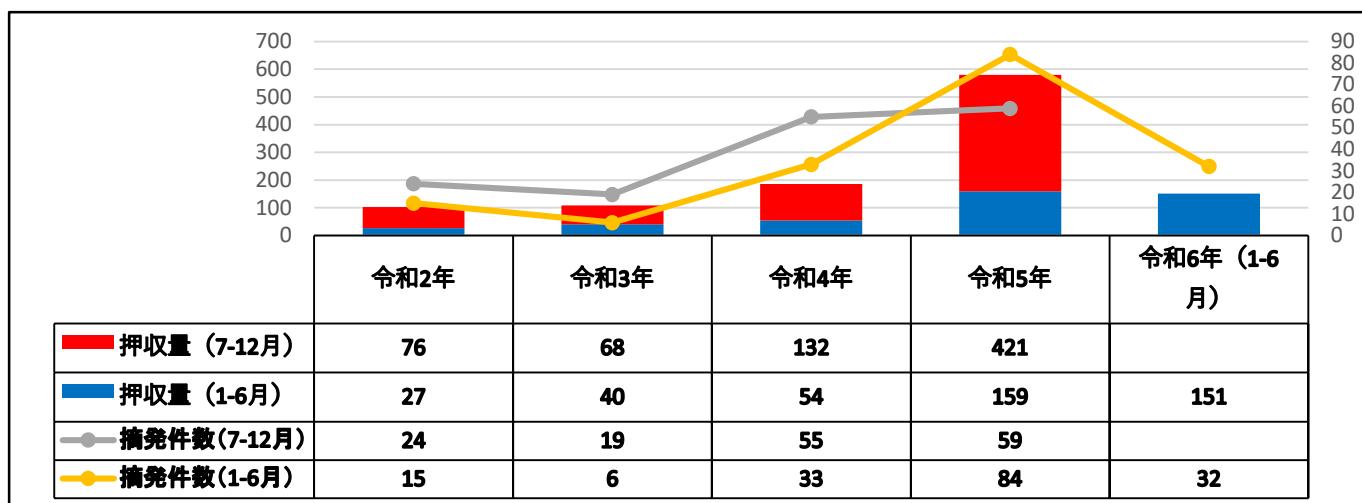
3. 令和5年及び6年の数値は速報値である。

## 2. 不正薬物摘発実績(令和2年から令和6年上半期(1月～6月))

### ●摘発件数・押収量

押収量 : Kg

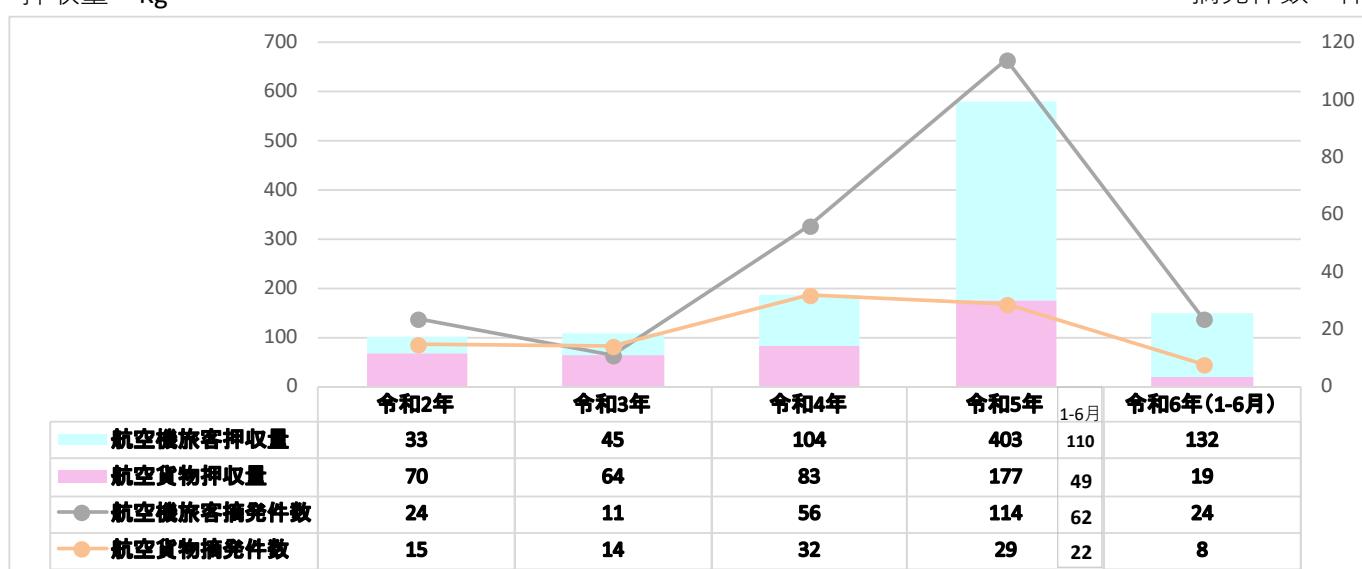
摘発件数 : 件



### ●形態別摘発実績

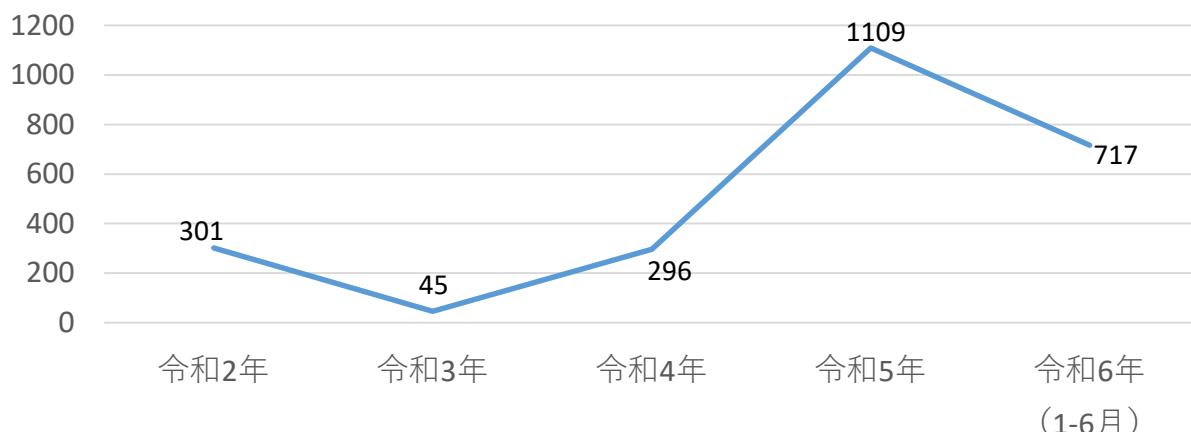
押収量 : Kg

摘発件数 : 件



### 【参考】成田空港入国者数の推移(令和2年から令和6年上半期(1月～6月))

入国者数 : 万人



(出典:出入国在留管理庁出入国管理資料)

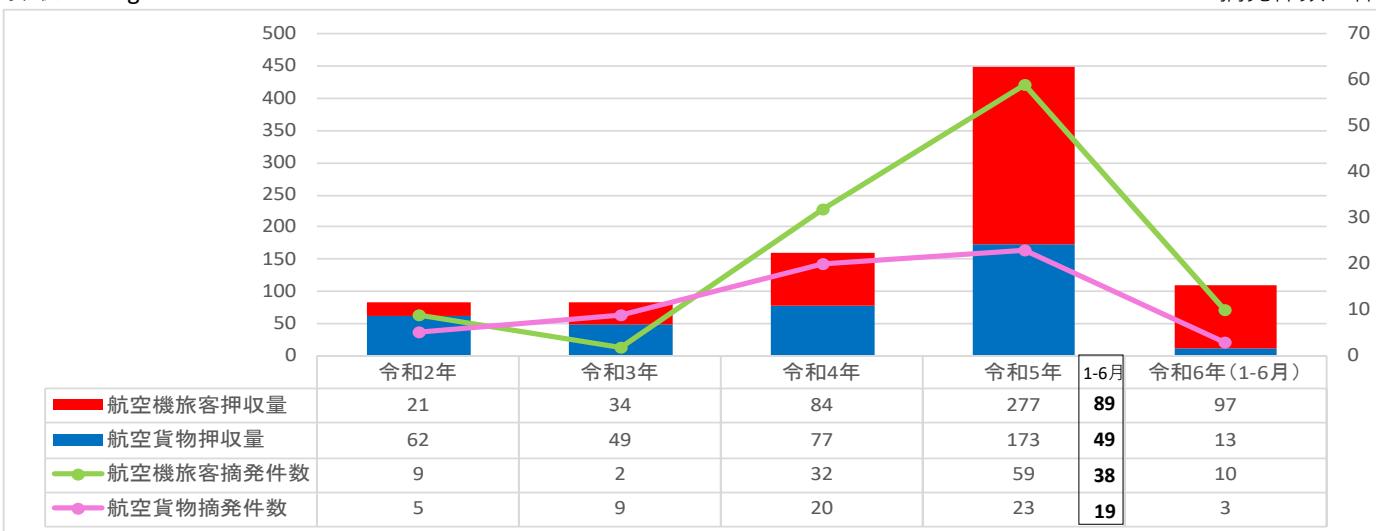
## (1) 覚醒剤の摘発状況

- ◆密輸形態別では、航空機旅客による摘発件数は10件（前年同期比約74%減）、押収量は約97kg（同約1.1倍）であり、航空貨物による摘発件数は3件（同約84%減）、押収量は約13kg（同約73%減）であった。
- ◆覚醒剤の仕出地は、北米地域で7件を占め、押収量は、北米地域で約75%を占めている。

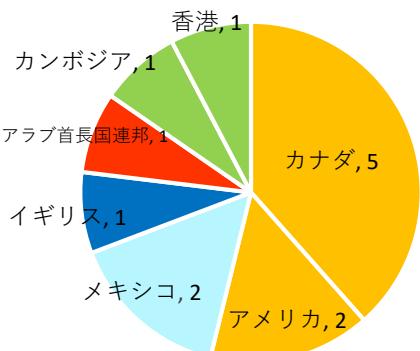
### ●形態別摘発実績

押収量：Kg

摘発件数：件

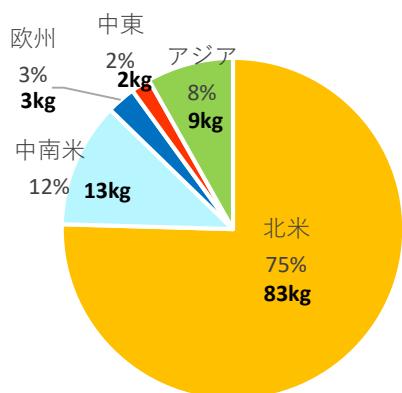


### ●仕出国別摘発件数（令和6年1～6月）



地域	国	件数
北米（2か国・7件）	カナダ	5
	アメリカ	2
中南米（1か国・2件）	メキシコ	2
欧州（1か国・1件）	イギリス	1
中東（1か国・1件）	アラブ首長国連邦	1
	カンボジア	1
アジア（2か国・2件）	香港	1
合計 13件		

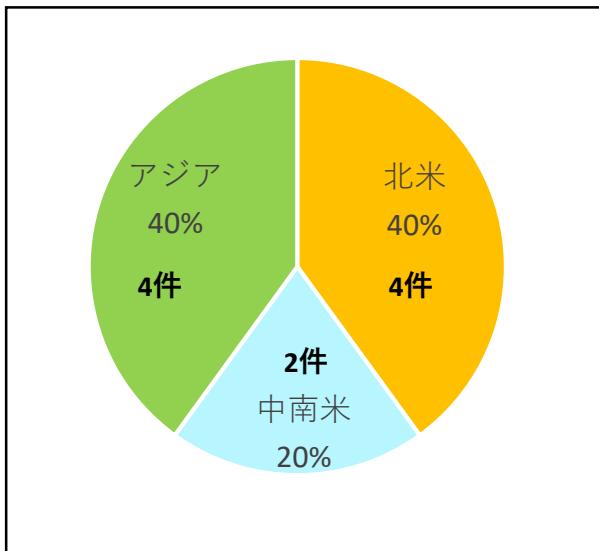
### ●仕出地域別押収量（令和6年1～6月）



地域	国	重量 (kg)
北米（2か国・83kg）	カナダ	72
	アメリカ	11
中南米（1か国・13kg）	メキシコ	13
欧州（1か国・3kg）	イギリス	3
中東（1か国・2kg）	アラブ首長国連邦	2
	カンボジア	6
アジア（2か国・9kg）	香港	3
合計 110kg		

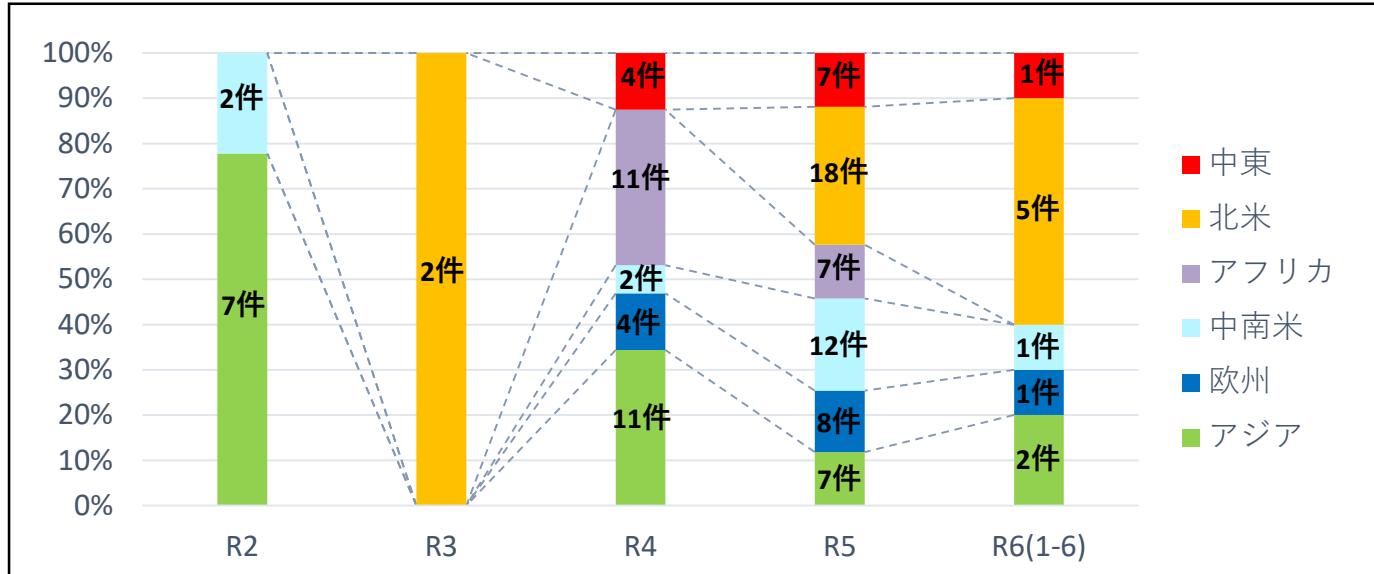
# (1) 覚醒剤の摘発状況(航空機旅客編)

## ●国籍別摘発状況

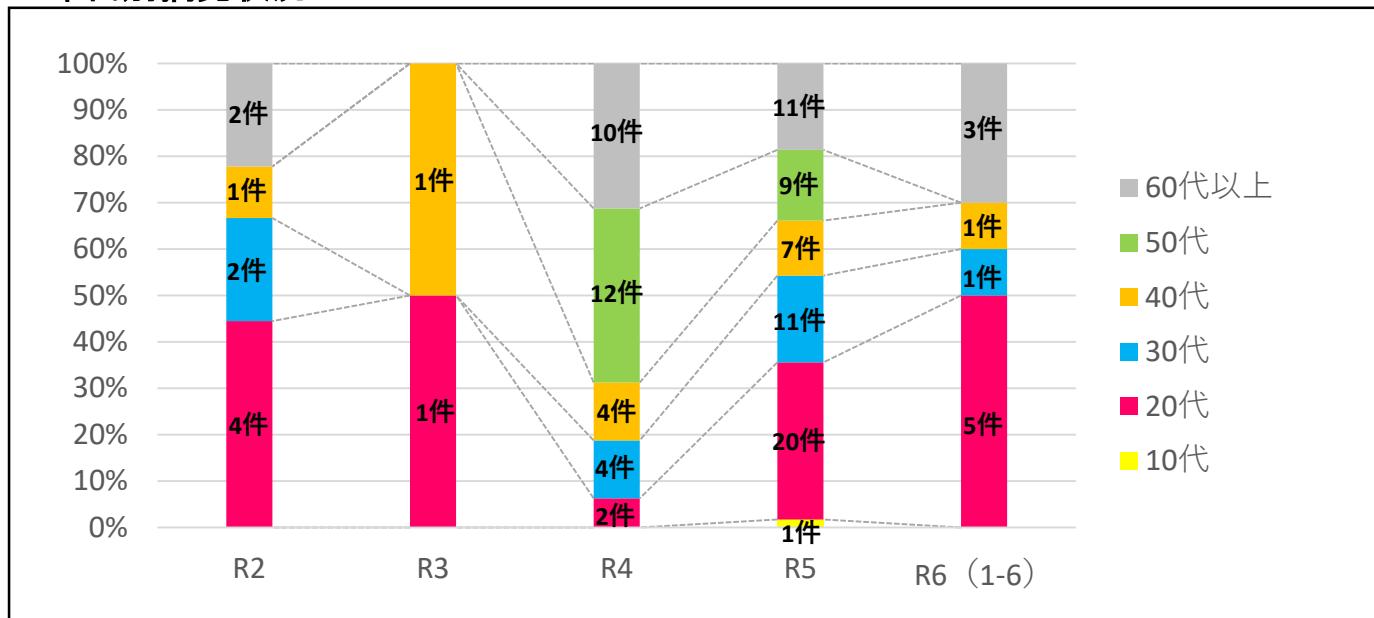


地域	国籍等	件数
北米 (2か国・4件)	カナダ	3
	アメリカ	1
中南米 (2か国・2件)	メキシコ・ブラジル	各1
	日本	2
アジア (3か国・4件)	台湾・香港	各1
	合計 10件	

## ●仕出地域推移



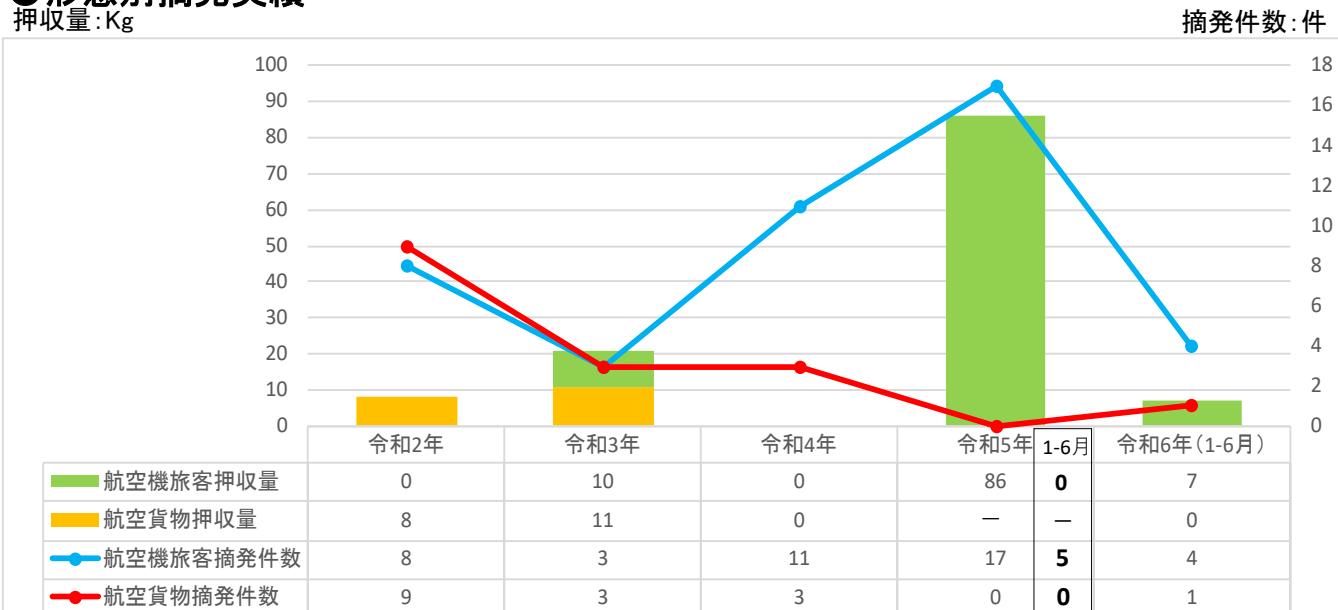
## ●年代別摘発状況



## (2) 大麻の摘発状況

- ◆密輸形態別では、航空機旅客による摘発件数が4件（前年同期比約20%減）であり、航空貨物による摘発件数が1件（同全増）であった。
- ◆隠匿手口は、食料品のアルミ製袋内に隠匿し、食料品として偽装工作する手口が見られた。

### ● 形態別摘発実績

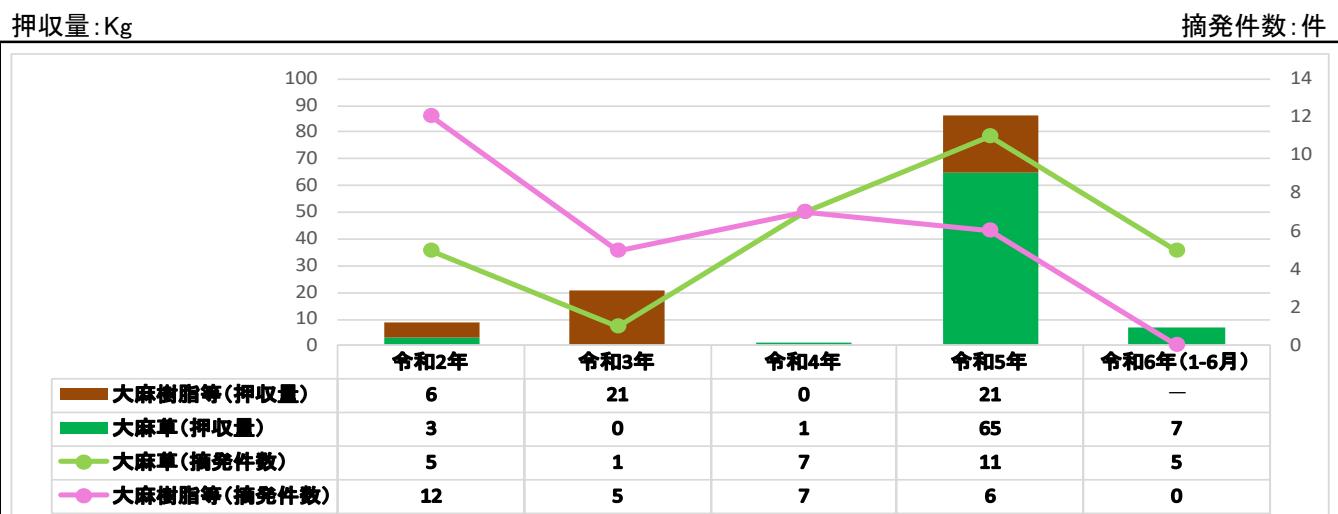


上図において、押収量「0」については、押収量が500グラム未満であることを示す。  
また、押収量「-」については、実績がないことを示す。

### ● 種別摘発状況

種別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年(1-6月)
大麻草	件数	5	1	7	11	5
	押収量(kg)	3	0	1	65	7
大麻樹脂等	件数	12	5	7	6	0
	押収量(kg)	6	21	0	21	—

※大麻樹脂等については、大麻リキッド等の大麻製品を含む



上図において、押収量「0」については、押収量が500グラム未満であることを示す。  
また、押収量「-」については、実績がないことを示す。

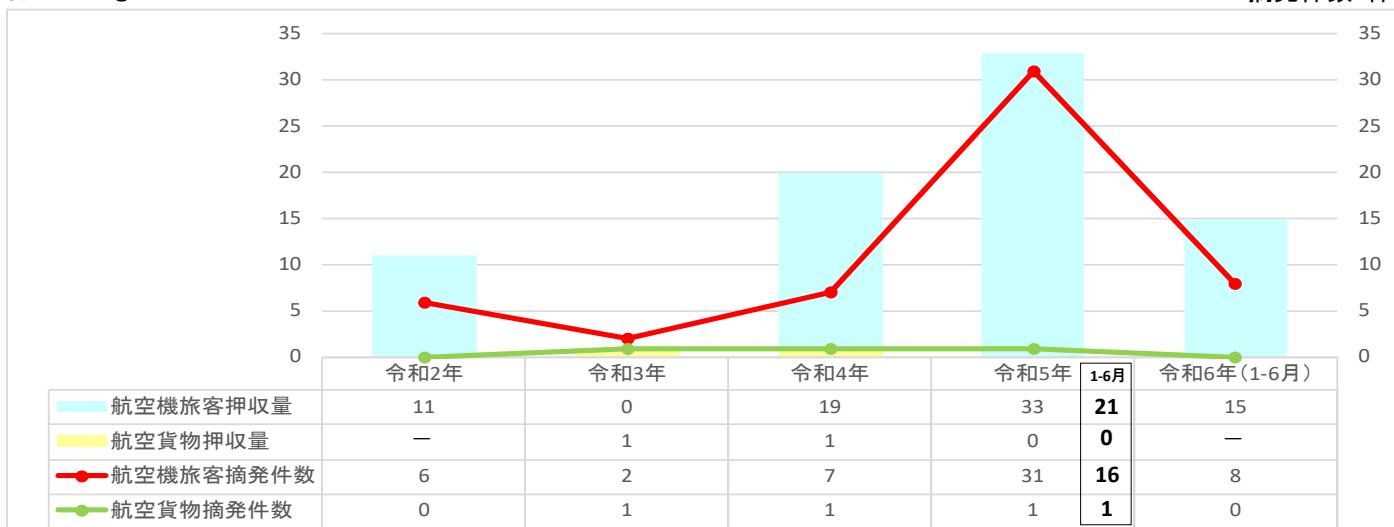
### (3) 麻薬の摘発状況

- ◆コカインの摘発件数は8件（前年同期比約53%減）、押収量は15kg（同約27%減）であった。
- ◆MDMAの摘発件数は4件（同約2倍）、押収量は約18kg（同約1458倍）であった。
- ◆隠匿手口は、嚙下、身辺に巻き付け、スーツケース二重工作、食料品に偽装工作するなど巧妙なものが見受けられた。

#### ●形態別摘発実績（コカイン）

押収量:Kg

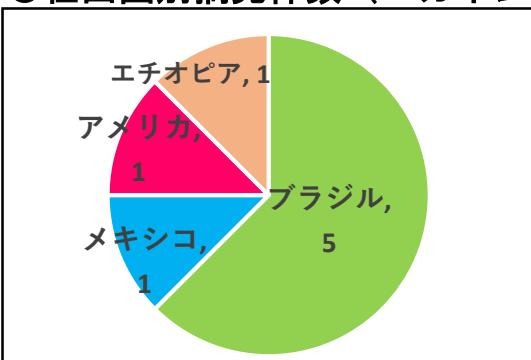
摘発件数:件



上図において、押収量「0」については、押収量が500グラム未満であることを示す。

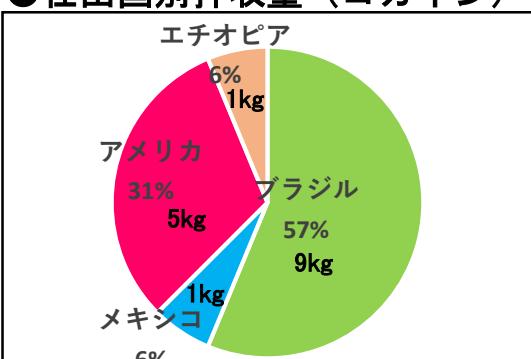
また、押収量「-」については、実績がないことを示す。

#### ●仕出国別摘発件数（コカイン）（令和6年1～6月）



地域	国	件数
中南米（2か国・6件）	ブラジル	5
	メキシコ	1
北米（1か国・1件）	アメリカ	1
アフリカ（1か国・1件）	エチオピア	1
合計：8件		

#### ●仕出国別押収量（コカイン）



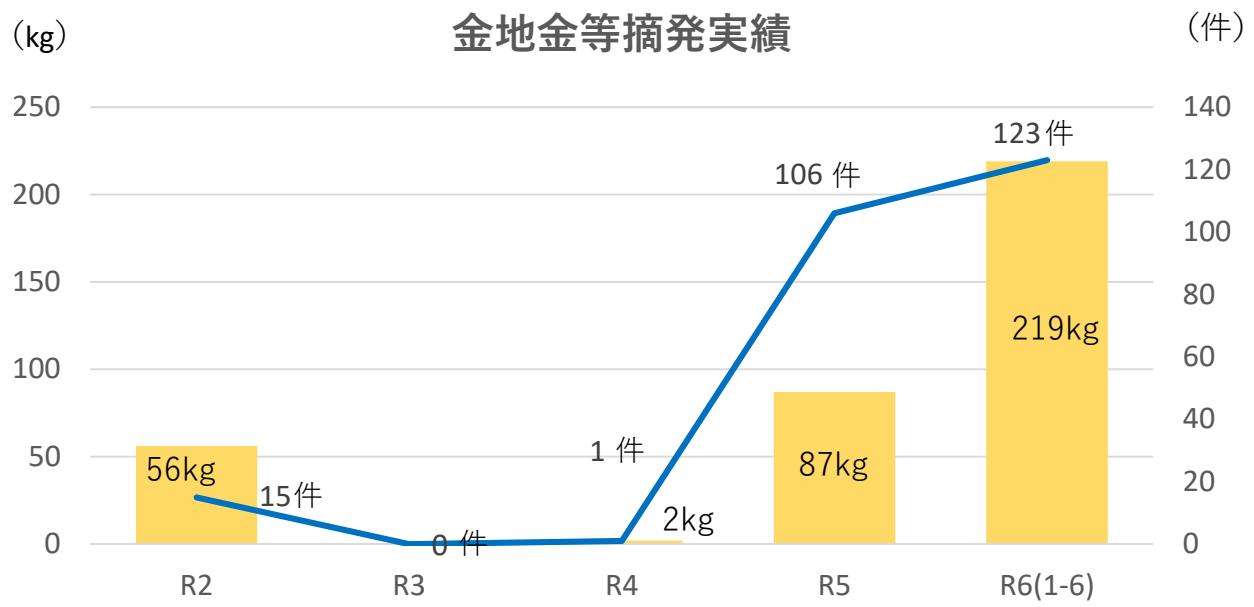
#### （令和6年1～6月）

地域	国	重量 (kg)
中南米（2か国・6件）	ブラジル	9
	メキシコ	1
北米（1か国・1件）	アメリカ	5
アフリカ（1か国・1件）	エチオピア	1
合計：16kg		

上図押収量については端数処理を実施しているため、実際の押収量とズレがある。

### 3. 金地金等の摘発状況

- ◆金地金等の密輸入は令和6年上半期のみで、令和5年1年間の摘発件数を上回っている。
- ◆航空機旅客による密輸入は、身辺隠匿が多く、着用中のコルセットや下着の中、着用中の靴の中、スーツケースの支柱内に隠匿など巧妙な手口によるものが見受けられた。
- ◆粉状の金の密輸入が急増している。



形態別金地金等摘発実績

	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年 (1-6)	
	件	kg	件	Kg	件	Kg	件	Kg	件	kg
航空機旅客	12	8	0	—	1	2	103	86	122	171
航空貨物	3	48	0	—	0	—	3	2	1	48
合計	15	56	0	—	1	2	106	87	123	219

	令和5年 (1-6)		令和5年 (7-12)		令和6年 (1-6)	
	件	kg	件	Kg	件	kg
航空機旅客	63	35	40	50	122	171
航空貨物	0	—	3	2	1	48
合計	63	35	43	52	123	219

令和5年、令和6年は速報値である。

重量の表記について、「—」は全く無い場合を示す。

端数処理のため、数値が合わないことがある。

# 【覚醒剤密輸事犯の隠匿事例】

## 事例①・② 【カナダ来大量覚醒剤密輸事案】

⇒航空機旅客2名のスーツケースから、約37.6Kgの覚醒剤を摘発。（令和6年6月）



## 事例③ 【カンボジア王国来覚醒剤密輸事案】

⇒航空機旅客の身辺に巻き付ける等して隠匿していた約6Kgの覚醒剤を摘発。

（令和6年1月）

## 事例④ 【メキシコ合衆国来覚醒剤密輸事案】

⇒航空貨物パレット（荷物を載せるための台）内に隠匿していた約11Kgの覚醒剤を摘発。

（令和6年3月）



## 【大麻密輸事犯の隠匿事例】

### 事例【タイ王国来大麻密輸事案】

⇒航空機旅客のスーツケース等バッグ類から、約7Kg（14袋）の大麻草を摘発。  
(令和6年2月)



## 【MDMA密輸事犯の隠匿事例】

### 【ベルギー王国来MDMA密輸事案】

⇒航空機旅客のスーツケースから、約11.9KgのMDMAを摘発。（令和6年6月）



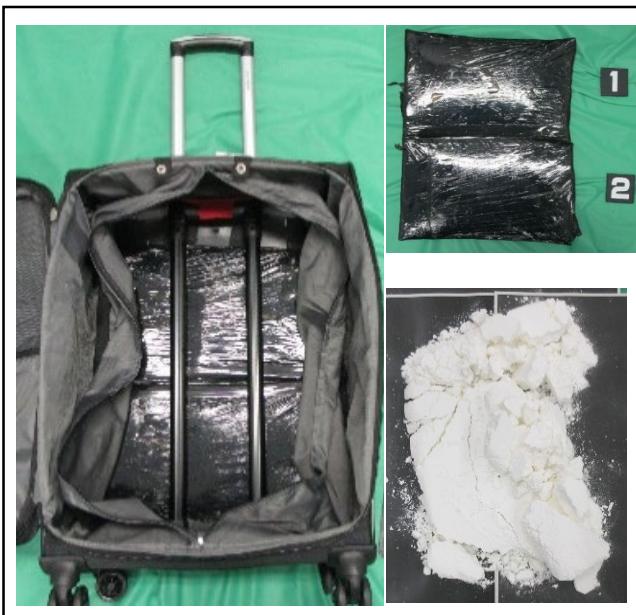
## 【コカイン密輸事犯の隠匿事例】

### 事例①

【ブラジル連邦共和国来コカイン密輸事案】  
⇒航空機旅客の身辺に巻き付け隠匿していた  
約5Kgのコカインを摘発。（令和6年1月）

### 事例②【メキシコ合衆国来コカイン密輸事案】

⇒航空機旅客のスーツケース二重底部分から、  
約1Kgのコカインを摘発。  
(令和6年6月)



## 【嚥下隠匿事例】

### 事例①【ブラジル連邦共和国来コカイン密輸事案】

⇒航空機旅客から、約0.9Kg（塊）のコカインを摘発。（令和6年2月）



### 事例②【エチオピア連邦民主共和国来コカイン密輸事案】

⇒航空機旅客から、約0.5Kg（塊）のコカインを摘発。（令和6年3月）



### 事例③【ブラジル連邦共和国来コカイン密輸事案】

⇒航空機旅客から、約1.1Kgのコカインを摘発。（嚥下隠匿 + 体腔内隠匿）

（令和6年4月）



【嚥下隠匿分】

【体腔内隠匿分】

# 【金密輸の隠匿事例】

## 事例①

### 【マレーシア来金地金密輸事案】

⇒航空機旅客着用のコルセットから、金地金を摘発。（令和6年1月）



## 事例②

### 【中華人民共和国香港特別行政区来金密輸事案】

⇒航空機旅客の身辺から、アクセサリー状の金を摘発。（令和6年1月）



## 事例③

### 【台湾来金密輸事案】

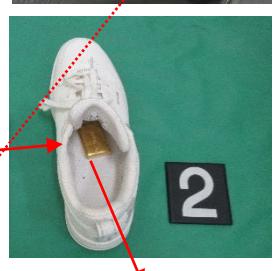
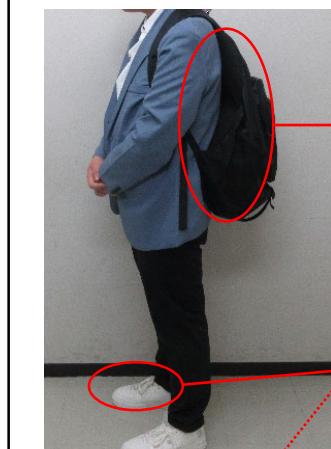
⇒航空機旅客所持品のスーツケース支柱から、金を摘発。（令和6年4月）



## 事例④

### 【中華人民共和国香港特別行政区来金密輸事案】

⇒航空機旅客のリュックサック及び身辺から、切断された金地金を摘発。（令和6年4月）



# 【粉状金密輸の隠匿事例】

事例①,②,③【中華人民共和国香港特別行政区来金密輸事案】  
⇒航空機旅客3名の身辺から、粉状に加工された金を摘発。（令和6年3月）

## 【事例①】



## 【事例②】



## 【事例③】



事例④,⑤【中華人民共和国香港特別行政区来金密輸事案】

⇒航空機旅客2名の着用中の靴から、粉状に加工された金を摘発。（令和6年6月）

## 【事例④】



## 【事例⑤】

